

第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

団体名	森びとプロジェクト
活動タイトル	人間は森（自然）に生かされてることを体感する育樹活動と啓発活動
活動地域	栃木県日光市、福島県南相馬市



4月21日の森作業日には、「白沢西の森」へ1個10kg程の黒土を背負子で、78袋運びました。水分を含んでおり、ズシリと来ます



6月11日、第11回南相馬市鎮魂復興市民植樹祭が開催され、森びとは植樹のサポートをしてきました。



6月17日は白沢の森の草刈り。草に覆われていた苗木が解放されて、元気に成長できる環境を整えてくれました

【団体概要】

“山と心に木を植える” 森づくりをしてきて、人間の生存は森が母体であること、その森に寄り添って生きていかななくてはならないという現実。その母体は人間を含めた全ての生きものの活動によって健全な循環として保たれることを体感・体験し、多くの学者・科学者の発する論が我々の知恵に結実しました。今後の具体的な事業は、森の手入れと啓発活動です。

【活動の目的・目標】

私たちの森づくりは、荒廃した大地を耕し、土づくり、植樹、草刈り、動物からの食害防止、苗木に撒水を怠り枯れさせてしまうなど、手探りで失敗を重ねながら、スタッフ間の話し合い、克服しながら、人間関係・信頼関係を築いてきました。「人間の都合」から「生物社会の一員でしかない人間」「森に寄りそうことでしか生きられない人間」という現実を、森づくりを通じて学び体験してきました。それを次世代に引き継ぐ。

【今回の活動で苦勞した/工夫したこと】

異常気象のためか、草の生長が早く、植樹をして3年間の草刈りが3年間では済まず、さらに年に数回草刈りをしないと、苗木は成長していきません。ボランティアの皆さんが新しい命を吹き込んでくれた苗木を枯らすわけにはいかず、しかしスタッフの高齢化もあり、作業日を月2回に設定し、少ない回数でかつ効率的に活動が出来るようにしてきました。

【活動の内容・成果】

開催回数：35回（足尾）、16回（南相馬）

参加人数：198名（足尾）、100名（南相馬）

達成率：35回/38回（足尾）、16回/16回（南相馬）

足尾では、4月～9月に育樹活動として草刈り、階段の整備・補修、獣害柵の点検・補修、補植。啓発活動として学生や社会人への環境教育、足尾を訪問される方々への森の案内等を行いました。しかし、計画していた南相馬、荒浜・名取、八幡平への草刈りツアーは新型コロナ感染リスクもあり、中止をせざるを得ませんでした。

南相馬では、4月～9月に苗床にある苗木の草取りや苗分け、撒水。植樹祭事務局（市役所）と連携し、市民ボランティアを募り、これまでの植樹祭会場の草刈りと前段の環境整備。そして植樹祭では森びとインストラクターと共に参加者の植樹サポートを行いました。

足尾と南相馬とも、身の丈に合ったか活動計画を立てたため、南相馬は計画通り進み、足尾も中止をした草刈りツアー以外は活動をやりきることが出来ました。

第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

こちらに、1ページ目の以外の活動写真を添付し、右側に説明をご記入下さい。



8月21日、樹徳高校の環境学習を行いました。コロナ禍で活動の自粛を余儀なくされていたので5年ぶりの開催です。2015年に樹徳高校の環境学習が行われ、先輩たちが植えた森の観察を行いました。生徒たちは各々移植ゴテを持ち、木の根元の落ち葉をかき分け土を掘っていました。幹や葉っぱに触れ「新しいはじめての発見」を探し、メモ帳を取り出し感じたことを書き込んでいました。



9月14日、JICAの研修受講者5名が体験植樹を行いました。15種類の苗木を丁寧に植えていただきました。感想は「今回の経験を国に帰って何か生かせるのではないかと思った」「私の国では、木を燃やすことはあるが植えることはない」「国でも植樹活動は行われているがこんなにきっかりとは遣られていない。心打たれる経験でした」「木を植えることは、将来世代のためでもある。素晴らしいことだ。」「心温まる皆さんと一緒に植樹活動が出来て良かった」等でした。



8月22日、連日の真夏日が続いたせいもあって苗木も弱り、さらに日照りのため葉も一部茶色となっているのが気がかりでした。岩橋事務局は3日前に水撒きと一部遮光ネットを設営されたことが話されました。設営された下の苗木は元気に生長していることがわかり引き続き全体に遮光ネットを張ることを参加者に伝え設営と水撒き作業をたっぷり行いました。



7月15日、原町区萱浜地区の「第8回南相馬市鎮魂復興市民植樹祭」会場（令和2年開催）の草刈りを開催しました。参加者の感想では「初めて除草作業に参加し、苗木を育てるためには除草作業が必要だと感じた」「今回2度目の除草作業参加で、暑い中の作業でしたが充実感・達成感を感じました。」などの感想が話されました。